

## A-1 利用者の尊重

### 1-(1) 利用者の尊重

	第三者評価結果
A-1-(1)-① コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	a・ <b>b</b> ・c
A-1-(1)-② 利用者の主体的な活動を尊重している。	a・ <b>b</b> ・c
A-1-(1)-③ 利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	a・ <b>b</b> ・c
A-1-(1)-④ 利用者のエンパワメントの理念にもとづくプログラムがある。	a・ <b>b</b> ・c

#### 所見欄

意思伝達が困難な利用者が多く、コミュニケーションを取ることが難しい。このため主体的な活動の支援や見守り、社会生活力を高めるプログラムもやむを得ず限定的になりがちであるが、スーパーバイズの助言により意思疎通が改善できた事例もある。利用者一人ひとりの固有のコミュニケーション手段やサインの発見など、引き続き様々な工夫に取り組むことが期待される。

## A-2 日常生活支援

### 2-(1) 食事

	第三者評価結果
A-2-(1)-① サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	<b>a</b> ・b・c
A-2-(1)-② 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	<b>a</b> ・b・c
A-2-(1)-③ 喫食環境(食事時間を含む)に配慮している。	<b>a</b> ・b・c

#### 所見欄

利用者の障害の特性に合わせた食器、きざみ食などの調理方法、食事の順番、食事に掛ける時間の調整など個別の支援を行っている。嗜好調査を行うとともに、食事の時間に栄養士が各ユニットを回り、食事支援の情報を収集して献立に反映させている。またマヨネーズ、ドレッシングなど調味料が選べるように、その都度テーブルに提供している。ユニットによってテレビをつけたり、静かな環境で食事したり、利用者の状況に合わせた喫食環境に配慮している。

### 2-(2) 入浴

	第三者評価結果
A-2-(2)-① 入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	<b>a</b> ・b・c
A-2-(2)-② 入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	<b>a</b> ・b・c
A-2-(2)-③ 浴室・脱衣場等の環境は適切である。	<b>a</b> ・b・c

## 所見欄

四肢機能障害の利用者は、特別浴室を利用している。強度行動障害、自閉症、てんかん発作を持っている利用者等、個々の状況に応じた入浴介助を行っている。入浴時間や入浴回数は家族などと話し合っていて決めている。設定された時間以外にも必要に応じて入浴支援を行っている。

### 2-(3) 排泄

	第三者評価結果
A-2-(3)-① 排泄介助は快適に行われている。	Ⓐ・b・c
A-2-(3)-② トイレは清潔で快適である。	Ⓐ・b・c

## 所見欄

トイレは毎日清掃され、防臭対策も行われている。会議でトイレ環境の改善を検討し、和式便器を洋式の暖房付き便座に変更した。おむつを使用している利用者は身体障害者用トイレで交換するなど、プライバシーに配慮した支援を行っている。

### 2-(4) 衣服

	第三者評価結果
A-2-(4)-① 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	Ⓐ・b・c
A-2-(5)-② 衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	a・Ⓑ・c

## 所見欄

衣服については自ら選択することが困難な利用者が多いため、家族等の意向を聞いて職員が購入している。よだれや食べこぼしについては、職員が気が付いたら速やかに着替えるよう配慮しているが、家族等の要望に、さらに適切な対応ができないか検討することが望まれる。

### 2-(5) 理容・美容

	第三者評価結果
A-2-(5)-① 利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	a・Ⓑ・c
A-2-(5)-② 理髪店や美容院の利用について配慮している。	Ⓐ・b・c

## 所見欄

ほとんどの利用者は月に1度の理美容業者の来園による理美容を行っている。髪型は家族等に希望を聞いている。100円ショップで化粧品を購入しておしゃれをする機会を作り、利用者に喜ばれている。さらに利用者の生活を豊かにする取り組みが期待される。

### 2-(6) 睡眠

	第三者評価結果
A-2-(6)-① 安眠できるように配慮している。	Ⓐ・b・c

## 所見欄

寝る前に足湯を行ったり、リラクゼーションのために音楽をかけるなど利用者の安眠のための工夫をしている。日中活動で体を動かす機会を増やして、昼夜逆転しないよう配慮している。

## 2-(7) 健康管理

	第三者評価結果
A-2-(7)-① 日常の健康管理は適切である。	Ⓐ・b・c
A-2-(7)-② 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	Ⓐ・b・c
A-2-(7)-③ 内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている。	Ⓐ・b・c

## 所見欄

5名の看護師を配置し、通院の判断、病状の把握、利用者カルテの整備、点滴等の処置を行っている。医療マニュアルを作成し、通常時・急変時の対応、確実な与薬管理のための具体的な確認の手順などが定められている。精神科・内科・外科・夜間救急の連携医療機関を定めており、嘱託医設置に向けて取り組むなど医療面での対応は充実している。

## 2-(8) 余暇・レクリエーション

	第三者評価結果
A-2-(8)-① 余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	a・Ⓑ・c

## 所見欄

ほとんどの利用者は余暇・レクリエーションについて主体的に企画・立案にかかわることは困難であるが、昨年家族等の意向でレクリエーションを増やした。結果の評価を行って、施設自らも機会を増やすことや内容の充実について、継続的に検討する取り組みが望まれる。

## 2-(9) 外泊・外出

	第三者評価結果
A-2-(9)-① 外出は利用者の希望に応じて行われている。	a・Ⓑ・c
A-2-(9)-① 外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。	Ⓐ・b・c

## 所見欄

外出時には利用者1名につき職員が1名以上付き添う体制を整えたり、障害の特性を考慮して自動車での外出となるため、事前計画的な外出となっている。利用者の障害の特性に配慮しつつ、より利用者に楽しんでもらえるよう、行き先や活動内容などについて検討することが望まれる。外泊は利用者、家族等の希望に沿って行っており、約10名の利用者が週末に自宅に戻っている。家族等の高齢化により自宅に戻れない利用者が次第に増えてきており、それに応じた支援の体制を取っている。

## 2-(10) 所持金・預かり金の管理等

	第三者評価結果
A-2-(10)-① 預かり金について、適切な管理体制が作られている。	Ⓐ・b・c
A-2-(10)-② 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる。	Ⓐ・b・c
A-2-(10)-③ 嗜好品(酒、たばこ等)については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている。	Ⓐ・b・c

### 所見欄

現時点で金銭の自己管理ができる利用者は在籍していない。施設で年金を預かっている利用者は1名で、「預かり金規程」に基づいて適正に管理している。外出時には雑誌などを購入したり、新聞等を定期購読している利用者もいる。施設内での喫煙・飲酒を希望する利用者・家族等はいないが、ジュースなどは施設内の自動販売機で利用者が自由に購入することができる。